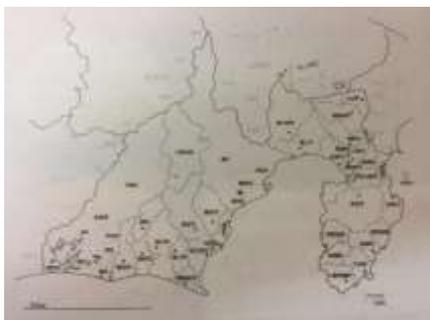


オープンプラン3年生 算数

「1万より大きい数」

～静岡県 人口ランキング!～

オープンプラン3年生の授業では、
一万より大きい数の学習が始まりました。
2年生のころまでに
4ケタの数までの表し方を学習しています。



まずは、静岡県地図を配りました。
子どもたちは興味津々です。
自分の住んでいるところや沼津市を
必死に探しています。

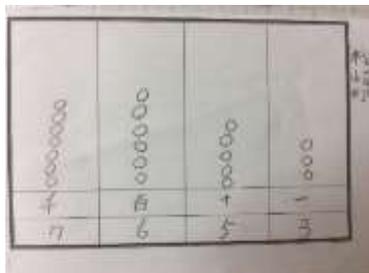
「静岡県で一番人口が少ないのって
どこか知ってる？」
と尋ねると、

どこだどこだ？
子どもがざわつき始めます。

「松崎町というところで、
7653人だそうです。」

多いね! いや、少ないよ!
色々な声が飛び交います。

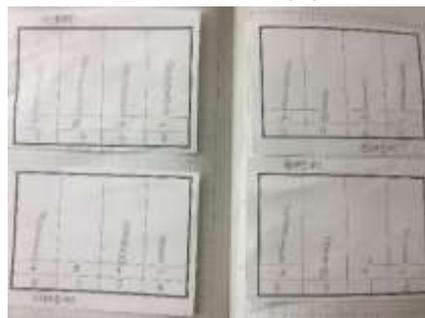
「では、人数は書けるかな？」



子どもたちは用紙に人数を書き込んでいきます。
「今のが第45位です。
第44位は河津町というところで、
7998人です。」

「第43位は…」
「第42位は…」
「第41位は…」

だんだん子どもたちも慣れてきた様子で、
すらすらと書いていきます。
全て4ケタです。



先生、簡単!
子どもたちもこんなことを
言い始めます。

しかし。
「第40位は東伊豆町で…」

14064人

黒板に書いた瞬間、
え?先生、紙に書けない!
どうやって書くの!?

子どもたちが騒ぎ始めます。
みんな一斉に作戦を考え始めました。

新しい学習に入る瞬間は皆で迎えたかったです。
そうすればみんなで考えられるし、
課題を明確にできるからです。
個別学習を重んじますが、
肝心なところはみんなで考えることも大切です。

さて、子どもたちからは
大きく二つの作戦が浮上しました。

①千の位の部屋に14を入れる作戦



②新しい位のための部屋を作ってあげる作戦



なるほど、どちらも名案です。
しかし、子どもたちから

1つの部屋に10以上入ったら
だめなんだよ！

という声が出ました。
これまでの学習が生かされています。

1つの位に10集まったら
隣の位に引越す

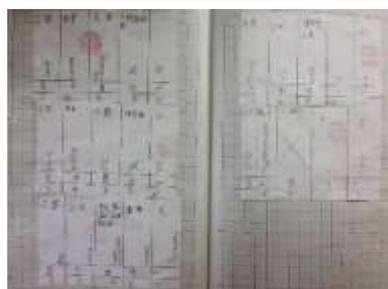
ということについて、
みんなでまとめることができました。

「千の位より一つ大きい位を、
一万の位と言います。」

「実は、位の部屋が5つある
バージョンの用紙も準備してあります。
続きは自分の好きなところを調べてみよう。」

順位	都道府県	人口	人口密度	人口増加率
1	東京都	12,417,000	331.6人/平方キロメートル	0.2%
2	北海道	5,219,000	16.4人/平方キロメートル	0.1%
3	大阪府	8,836,000	292.8人/平方キロメートル	0.1%
4	神奈川県	9,270,000	292.8人/平方キロメートル	0.1%
5	愛知県	7,376,000	238.9人/平方キロメートル	0.1%
6	福岡県	5,155,000	164.9人/平方キロメートル	0.1%
7	千葉県	6,254,000	208.3人/平方キロメートル	0.1%
8	埼玉県	7,278,000	242.5人/平方キロメートル	0.1%
9	静岡県	3,780,000	122.3人/平方キロメートル	0.1%
10	茨城県	2,871,000	92.3人/平方キロメートル	0.1%
11	宮城県	2,269,000	73.4人/平方キロメートル	0.1%
12	新潟県	2,254,000	71.7人/平方キロメートル	0.1%
13	石川県	1,147,000	36.3人/平方キロメートル	0.1%
14	富山県	1,069,000	32.9人/平方キロメートル	0.1%
15	岐阜県	2,068,000	65.2人/平方キロメートル	0.1%
16	長野県	2,068,000	65.2人/平方キロメートル	0.1%
17	山梨県	819,000	25.3人/平方キロメートル	0.1%
18	群馬県	2,068,000	65.2人/平方キロメートル	0.1%
19	栃木県	3,549,000	114.3人/平方キロメートル	0.1%
20	東京都	12,417,000	331.6人/平方キロメートル	0.2%
21	東京都	12,417,000	331.6人/平方キロメートル	0.2%
22	東京都	12,417,000	331.6人/平方キロメートル	0.2%
23	東京都	12,417,000	331.6人/平方キロメートル	0.2%
24	東京都	12,417,000	331.6人/平方キロメートル	0.2%
25	東京都	12,417,000	331.6人/平方キロメートル	0.2%

ランキング表を配布しました。
ここからは個人活動です。
子どもたちは、どんどん進めています。



私の住んでいるところがない！
それは、結構多いってことじゃない？
子どもたちは話しています。

やがて、前半のランキング表も配布します。
次は10万の位に遭遇します。

しかし、子どもたちは自力で
解決していくことでしょう。

仕組みは1万の位の時と同じです。
みんなで立てた作戦をもとに、
今度は一人で乗り越えていく番です。

オープンプラン算数では、
個別活動の充実のみではなく

みんなで問題に出会い、解決したり
素直な気持ちや発見のやり取りをする
集団での良さも大切にしています。

※人口は、2010年当時のものを使用
<http://area-info.jp/area/A1101220001.html>より